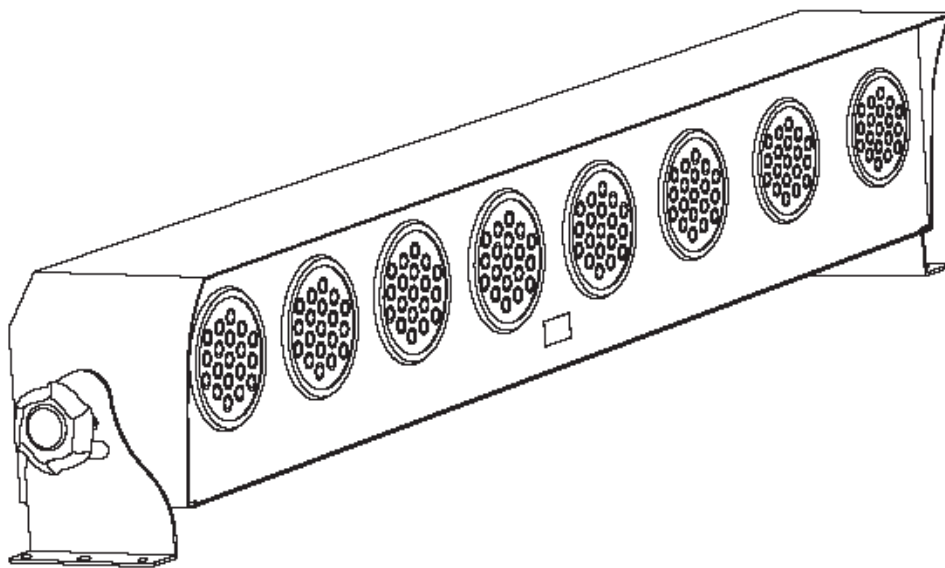
Trackpod

Trackpod 30 / Trackpod 80 取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はELATION Trackpodをご購入頂き、誠に有り難うございます。
Trackpod は100万種類もの色を発光することが可能なLED照明システムです。DMX コントローラーを本体に接続し、様々な照明エフェクトを操作することが可能です。Trackpod の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

安全上のご注意

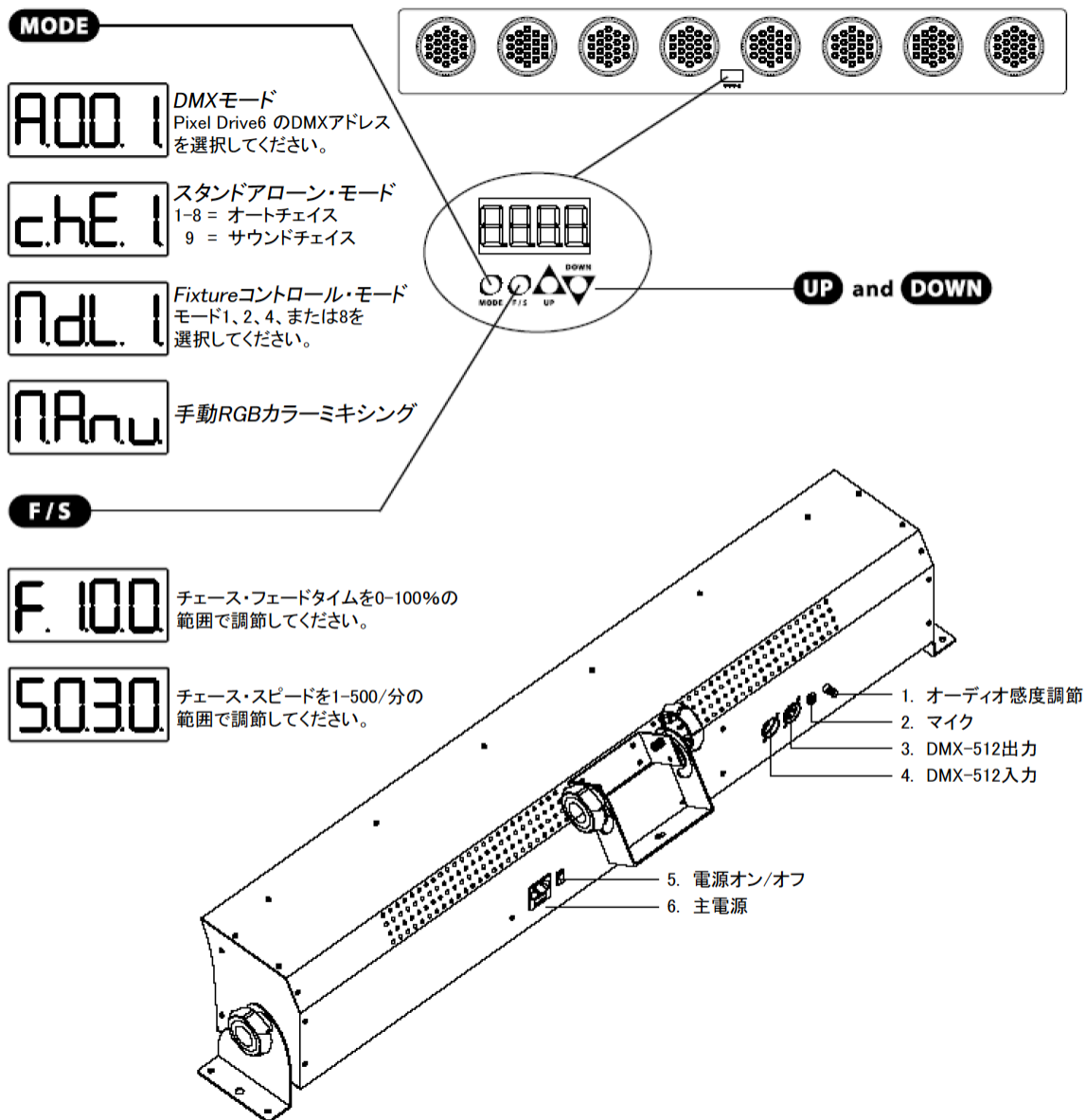
- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはおやめ下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしない様ご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはおやめ下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対におやめ下さい。
- どのような状況においても本体のカバーを外さないで下さい。
- 壁から約15センチ以上離れた風通しの良い場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用をやめて下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。

本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

付属品

- Trackpod LED 灯体
- 電源ケーブル
- 取扱説明書

※ DMX コントローラー、DMX ケーブルは付属しておりません。

フロント/リアパネル機能

注:図は Trackpod 30 です。

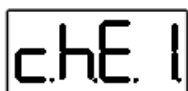
本体の設置

Trackpod をトラスに吊り下げる場合、本体をクランプで安全に固定して Trackpod のマウンティング・ブラケットとトラスをセーフティー・ケーブルで繋いで下さい。また Trackpod を壁、天井、床、又は棚等に固定する場合、機材をマウントする下地が本体重量に耐えられるか必ず確認して下さい。Trackpod は必ず通気性の良い場所に設置して下さい。

※マウンティングブランケット及びこの字型ブランケットに使用する固定ノブは共有されており、どちらか一方のみ使用可能となります。

スタンドアローン機能

Trackpod のフロントパネルに以下の 4 つのボタンが搭載されています。

CHASE メニューに入る為に MODE ボタンを押して下さい。

UP ボタンと DOWN ボタンを使ってチェース 1～9 を選択して下さい。チェース 1～8 は FADE と SPEED で設定された値に基づき動作し、チェース 9 を選択するとサウンドアクティブ機能に設定されます。

FADE と SPEED 値を設定するには F/S ボタンを押して下さい。

CHASE FADE TIME を 0～100%の範囲で設定します。

CHASE SPEED を 1～500 ステップ/分の範囲で設定します。

MANUAL COLOR MIXING メニューに入る為に MODE ボタンを押して下さい。

まず F/S ボタンを押して UP ボタンと DOWN ボタンを使って RGB 値を設定して下さい。

サウンドアクティブ機能

スタンドアローンモード時にチェース 9 を選択し Trackpod のリアパネルに位置する感度調整ダイアルを使って音声の入力レベルを調節して下さい。また DMX モード時にはチャンネル 6 を選択し、音声の入力レベルを調節して下さい。

DMX 操作

DMX アドレス設定メニューに入る為にモードボタンを押して下さい。

UP ボタンと DOWN ボタンを使って Trackpod の DMX スタートアドレスを設定して下さい。

DMX チャンネルの機能は以下の通りです。

チャンネル 1:　レインボー
チャンネル 2:　レッド　（0～100%）
チャンネル 3:　グリーン　（0～100%）
チャンネル 4:　ブルー　（0～100%）
チャンネル 5:　ストロボ　（1～20Hz）
チャンネル 6:　サウンドアクティブ / オーディオ入力感度

Trackpod80 のチャンネル 6 には 8 つのモード（値: 1～240）とサウンドアクティブ（値:241～255）があります。また、スピードとフェードを調節するにはチャンネル 1（スピード）とチャンネル 2（フェード）を調節して下さい。モードごとの値は以下をご参照ください。

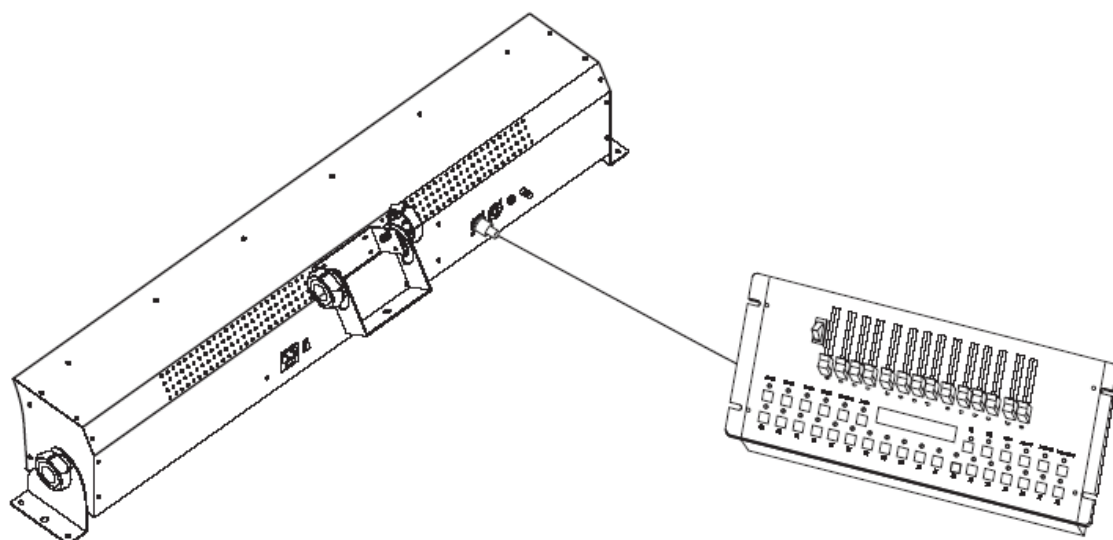
チェース 1:　1～30
チェース 2:　31～60
チェース 3:　61～90
チェース 4:　91～120
チェース 5:　121～150
チェース 6:　151～180
チェース 7:　181～210
チェース 8:　211～240
サウンドアクティブ:　241～255

Trackpod は自動的に DMX 信号の有無を検索します。Trackpod が DMX 信号を検知するとフロントパネルの LED が点滅します。

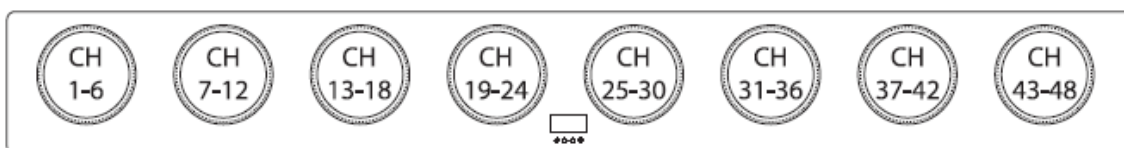
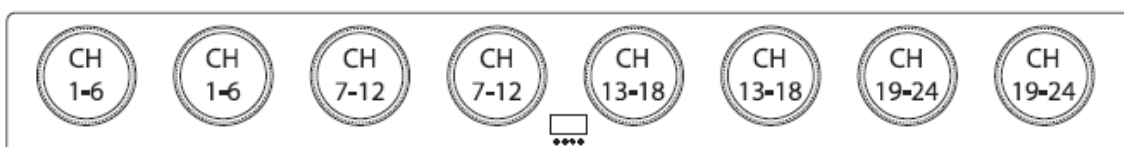
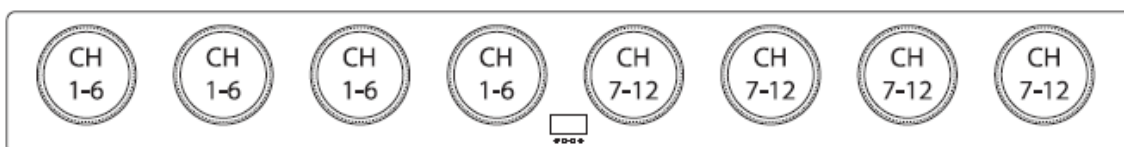
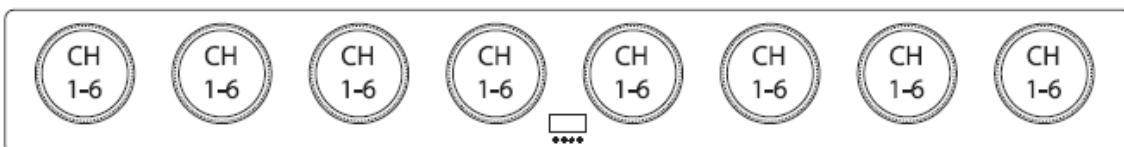
DMX 信号を受信するには DMX ケーブルを使用して Trackpod と DMX コントローラーを接続して下さい。この際 DMX コントローラーの電源はオンにして下さい。

DMXを使用してRGBカラーをミックスする際はチャンネル1をオフ(0)にして下さい。

シーンをプログラムする際、シーンを再生中にサウンドアクティブモードが動作しないようにチャンネル6をオフ(0)にして下さい。

Trackpodは48、24、12、又は6チャンネルのDMX対応灯体として操作することが可能です。DMXモード1、2、4、又は8から選択して下さい。

DMX モード

MODE ボタンを押して DMX モード選択メニューに入って下さい。UP ボタンと DOWN ボタンを使って DMX モードを選択します。

DMX モード 1： 48 チャンネル動作
（Trackpod の各 LED 灯体を個別に調節します。）

DMX モード 2： 24 チャンネル動作
（LED 灯体を 4 セットに分けて調節します。）

DMX モード 4： 12 チャンネル動作
（LED 灯体を 2 セットに分けて調節します。）

DMX モード 8： 6 チャンネル動作
（同じ設定をした 8 つの LED 灯体をまとめて調節します。）

ヒューズの交換

Trackpod のヒューズの交換は以下の図を参照して行って下さい。

- 電源ケーブルを本体から外して下さい。
- ヒューズを取り出し、交換を行って下さい。

仕様

Trackpod 30

電源	: AC100V、50/60Hz
消費電力	: 75W
サイズ	: 950mm(W)×140mm(H)×140mm(D)
重量	: 7.7kg
ヒューズ	: 1.5A ／ 250V

Trackpod 80

電源	: AC100V、50/60Hz
消費電力	: 95W
サイズ	: 1270mm(W)×127mm(H)×140mm(D)
重量	: 9.5kg
ヒューズ	: 2A/250V

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

＜接続例＞

［パーライト］

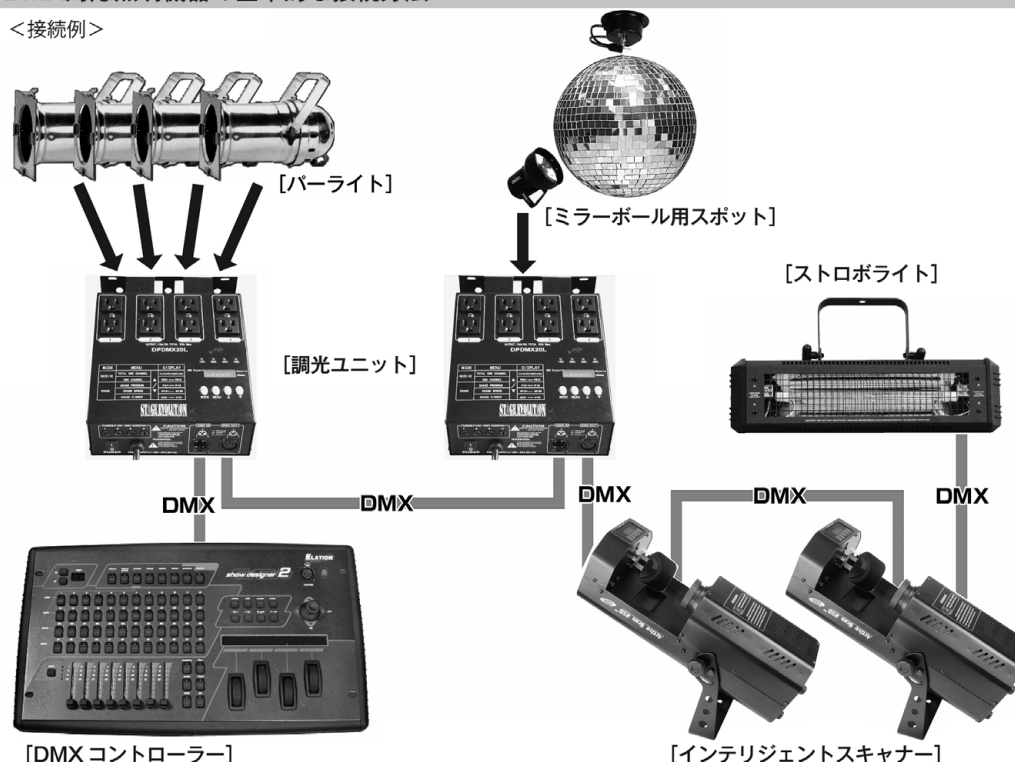
［ミラーボール用スポット］

［ストロボライト］

［調光ユニット］

DMX　DMX　DMX　DMX　DMX

［DMX コントローラー］

［インテリジェントスキャナー］

● DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。

● DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい（※）。

● 調光ユニット（ディマー）を使用し、パーライト（PAR64やPAR38等）の明るさを調節します。

● インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA　DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。